

北信越ろうあ連盟ニュース

令和4年12月25日発行 発行人：北信越ろうあ連盟理事長 石川 渉 編集：連盟事務局
事務局：金沢市本多町3丁目1番10号石川県社会福祉会館内 (社福)石川県聴覚障害者協会気付

毎年9月23日は「手話言語の国際デー」です。

2023年のテーマは「世界中のろう者が、どこでも手話言語でコミュニケーションできる社会へ！」です。

また2022年より、WFDから働きかけで、世界各地でWFDロゴの色である「世界平和」を表す青色にライトアップを行っています。

北信越ろうあ連盟の加盟団体(5県協会)から、手話言語の国際デーの取り組みと活動状況について、以下報告をいただきました。



INTERNATIONAL DAY OF SIGN LANGUAGES

社会福祉法人 長野県聴覚障害者協会

◆8月31日(木)：きこえない人の就労と雇用を考える集い

情報センターと県協会共催で、1部では、行政の立場から、きこえない人の就労支援状況についてお話いただいた後、公共職業安定所の手話協力員等も交えて意見交換会を行なった。2部は、山田稔彦さんから、「きこえない人が働き続ける上で大切なこと」を講じていただいた。長野県では、令和2、3年度の障害者介助等助成金の支給実績はないため、今後、この制度が活用されるように、当協会としても普及啓発に取り組むとした。

◆9月12日(火)：県に12項目を要望

「手話言語条例」や「障害のある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」が施行されている中で、合理的配慮の申し立てについて実効性のあるものになっているかどうかについて意見交換が行われた。警察や消防、県職員に対して手話研修に、手話を学ぶための目標を設定して研修を行う必要があるのではないかという意見も出された。県手話通訳事務員の待遇についても検討が必要との回答があった。



◆9月17日(日)：組織活動者研修会

「ろう運動の大切さとは」をテーマに、講師の(公益)静岡県聴覚障害者協会事務局長の小倉健太郎氏が、見える情報の提示が大切だと講じてくださった。

◆9月23日(土)：手話言語の国際デー

手話動画 <https://www.youtube.com/watch?v=edllsQR-qmo>

長協HP [【手話言語国際デー】県内ブルーライトアップ、イベント等の実施に関する報告](#)

◆10月15日(日)：第72回県聴覚障害者スポーツ大会 in 南箕輪

4年ぶりに第72回長野県聴覚障害者スポーツ大会を南箕輪村大芝高原屋内運動場で開催した。選手の皆さんが楽しそうにやっていた。

【報告動画】 <https://youtu.be/e9MH6aGwiOE>

一般社団法人 新潟県聴覚障害者協会

新潟県としての「手話言語の国際デー」取り組み内容は、新潟ふれ愛プラザをはじめとする各市町村関連施設等でのライトアップ、SNS発信、手話講座等の開催でした。主な取り組みを報告します。

●新潟ふれ愛プラザ

今年は新潟ふれ愛プラザ(県立：新潟市江南区)のブルーライトアップと関連パネルの紹介展示を行いました。新潟県ホームページでは、昨年に引き続き国際デーや手話普及の取り組みについて紹介しました。



協会理事が出演している
紹介映像もぜひ♪

《YouTubeチャンネル見てね》↓



●三条市

市立図書館にて手話に関する本の展示、市施設にて手話講座を開催。

●糸魚川市

糸魚川駅デジタルサイネージによる発信。

●燕市

市役所庁舎おもいやり駐車場付近でのライトアップ。市HPでの紹介。

●加茂市

市広報誌やSNSによる発信、加茂駅前広場モニュメントのライトアップ。

●新潟市

本庁舎・各区施設にてブルーライト点灯、市HPでの紹介やパネル展示など。

4月～10月までの活動内容は、組織委員会にて8月5日下越ブロック、8月27日中越ブロックの懇談会を開催しました。会員・非会員など集まり、県協会の現状調査アンケートの結果に基づいて意見交換を行ないました。会費・会員呼びかけ・手話カレンダーなど多くの意見があり、有意義な懇談会になりました。また、懇談会開催の成果として下越ブロックの県会員が増加しました。12月2日には上越ブロック懇談会を開催し、来年度も継続して計画を進めています。

【報告動画】 <https://youtu.be/taWJp6luhHl>

社会福祉法人 富山県聴覚障害者協会

今年も6カ所でブルーライトアップ

昨年と同じく4自治体が応じ、6カ所でライトアップが行われました。特にクロスランドおやべのタワー全てがブルーライトアップになっており、感動しました。実施場所：富山市(環水公園・富山県美術館・富山城)、射水市(富山新港帆船海王丸)、滑川市(市庁舎)、小矢部市(クロスランドおやべ)



今井氏の講演に感動！第34回富山県ろうあ者大会が開催

「当たり前で手話で語る「輪」を広げよう!!南砺の地から～」とのテーマに7月2日(日)福野文化創造センターヘリオスにて第34回富山県ろうあ者大会が開催。参加者は332名。記念講演では参議院議員で元SPEEDの今井絵理子氏に聴覚障害の息子さんと歩んだ経験を基に「障がいは、ひとつの個性」と題してお話いただきました。

着々と進む、第36回全国ろうあ高齢者大会 in とやまの準備

同大会は、2024年9月26日～29日、富山県富山市にて開催します。準備委員会を経て、7月15日(土)に第1回実行委員会をスタートしました。開催要項・日程案・予算案・実行委員

会体制、会場視察、委託する業者への条件などを確認し、第2回目は、大会テーマ、マーク、講演・アトラクションの企画案を決定しました。9月21日～24日の第35回全国ろうあ高齢者大会(愛媛)に15名参加し、大会アトラクションのフィナーレで富山の映像紹介とともに来年の富山大会への参加を呼びかけました。富山市オーバードホール中ホール、富山県五福公園など会場も確保し、準備を進めています。
北信越の皆さん、たくさんお集まりください。

大会マーク→



50口以上をめざして、デフスポーツ・サポーター登録を呼びかける

11月19日の文化のつどいで、受付デスクを設けて、登録申込みを呼びかけました。その結果、聞こえる人から6口、ろう者から10口いただきました。さらに11月24日の高齢部交流サロンにて10口、26日の行事にて7口の申込をいただきました。
12月1日現在の集計では、聞こえる人5人、ろう者32人、合計37人です。

【報告動画】 <https://youtu.be/ByUDo6R8ikI?si=ItlDIbiU69puPTGV>

社会福祉法人 石川県聴覚障害者協会

★6月16日(金)～18日(日) 第72回北信越ろうあ者体育大会 in 石川

野々市市にて開催されました標記大会において、北信越各県よりたくさんのご参加をありがとうございました！台風の影響が心配でしたが、当日は晴天に恵まれ無事終わることが出来ました。野球競技の始球式では野々市市長にご登板いただき、盛り上がりを見せました。

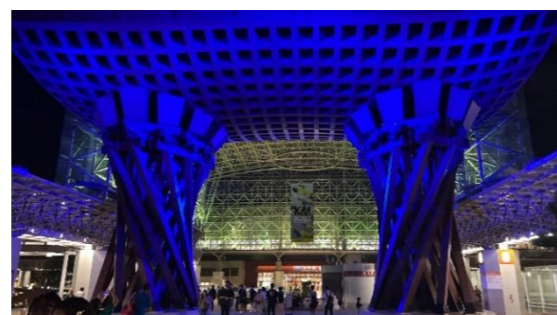
★7月9日(日) 第57回石川県ろうあ者福祉大会 in 津幡町



4年ぶりの対面開催となり、盛大に開かれました。第一部では、NHK 手話ニュース845のキャスター那須英彰氏に「昭和時代のろうあ三羽鳥」をテーマに講演いただき、第二部の式典では、馳県知事をはじめ多数のご来賓より祝辞をいただきました。第三部では吉岡事務局長より手話言語の国際デーやデフリンピックなど大きな行事の紹介、金沢北陵高校の手話パフォーマンスが披露され、対面開催ならではの良さを実感した大会でした。

★9月23日(土) 「手話言語の国際デー」

今年度は、県内の12カ所でブルーライトアップを実施しました。この機会に県民のみなさんが「手話言語」について知り、理解が広がることを期待します。来年度は19市町全てでライトアップを実現できるよう、市ろう協とともに各所に働きかけていきます！



★9/5(火)、9/11(月)、10/26(木) 労働局・県福祉課・教育委員会へ要望提出

例年通り、労働局・県福祉課・教育委員会へ要望書を提出しました。会員の要望をしっかりと届けました。

吉岡事務局長より
石川県聴覚障害者協会ニュースの
手話動画をお届けします！

https://youtu.be/qb6_s-mpWPk



福井県ろうあ協会

9/23(土) 「手話言語の国際デー」でブルーライトが福井県5ヶ所で点灯！

県内では5市が参加し、坂井市ゆりの里公園、越前市庁舎広場、敦賀市人道の港敦賀ムゼウム、鯖江市西山公園噴水広場、中部縦貫自動車道勝山ICのホワイトザウルス・オブジェが青い光でライトアップされました。

今年初めて参加した勝山市福祉課は「世界中のろう者が、どこでも手話でコミュニケーションできる社会にしていきたい。啓発につながれば」との言葉をいただきました。



勝山市



鯖江市



敦賀市

福井県での開催は初！！ 第57回全国ろうあ者体育大会 in ふくい

9月7日(木)～10日(日)、福井市を中心に敦賀市、鯖江市、越前市、坂井市にて「第57回全国ろうあ者体育大会」が開催されました。全国から1,260名の選手が集い、福井からも22名の選手が参加しました。

開会式は県営体育館メインアリーナにて行われ、式典で大会史上初、手話付の国歌斉唱をお披露しました。また大会名誉会長の杉本知事(福井県)と副会長の東村市長(福井市)による手話での自己紹介とご挨拶をいただきました。スポーツ委員会より、デフリンピック2025東京開催のPRとデフスポーツ普及を紹介しました。各競技も日頃練習の成果を発揮し、勝敗の行方に手に汗を握る熱い戦いを繰り広げる大会でした。

2025 東京デフリンピック開催の紹介

全日本ろうあ連盟による2025東京デフリンピック開催の紹介



次年度開催の群馬県の紹介もありました！



全日本ろうあ連盟スポーツ委員会HP

<https://www.jfd.or.jp/sc/>

第57回全国ろうあ者体育大会 公式WEB

<https://2023roua.geo.jp/>

デフリンピック

<https://www.jfd.or.jp/sc/deoflympics>

【編集後記】

原稿を寄せてくださった方々に心より御礼申し上げます。今回のニュースは「手話言語の国際デー」の取り組みと各県協会活動状況を紹介いたしました。各県協会には1年大変お世話になり、心より感謝申し上げます。今年も残すところあとわずかとなり、2024年も引き続きよろしくお願いたします。忙しい時節柄とは思いますが、くれぐれもお体に気をつけてお過ごしくださいませ。

北信越ろうあ連盟事務局長 山科孝良

